

令和5年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター東部		
所在地	塩尻市大字峰原 1 7 3 番地 1		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (5 年間のうち 5 年目)		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉部 地域共生推進課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実 績		
【コミュニティソーシャルワーカーの設置】	【コミュニティソーシャルワーカーの設置】		
1 総合相談事業 社会福祉士を配置し地域福祉推進センター、ふれあいセンター洗馬・広丘と連携して、個別支援、地域支援、有償福祉サービスの仕組みづくりを進めることで地域課題の解決に対応します。 17,300人	1 総合相談事業 ・ 相談件数 福祉相談 626件 ボランティア相談 20件 有償福祉サービス 92件 福祉学習 68件 地域支援 63件 健康相談 4,378件 介護相談 10件 ・ 相談形式 電話 504件 訪問 119件 来所 144件 会議 112件		
【東部圏域の地域福祉活動の推進】	【東部圏域の地域福祉活動の推進】		
1 講座の開催 ・ 地域福祉活動講座 5回 80人 ・ 地域支え合い講座 2回 30人 ・ 災害時支え合い講座 2回 30人	1 講座の開催 ・ 地域福祉活動講座 9回 164人 北小野地区 地域で支える認知症の理解 1回 20人 防災学習会 1回 39人 大門地区 子ども福祉講座 手話を覚えよう2回 20人 塩尻東地区 霧訪山コン 1回 17人 防災学習会 1回 22人 中央公民館 1回 22人 障がい理解する講座 2回 24人		

2 地域支え合い支援		2 地域支え合い支援	
・小地域の支え合い仕組みづくり		・交通課題プロジェクト会議	3回
・お買物サロン	11回	・移動支援学習会	1回
・お買い物バス実証運行	2回	・お買物サロン	11回 591人
		・お買い物バス実証運行	2回 22人
		・支部総会	3地区
		・支部福祉懇談会	3地区
3 社協支部・分会等との連携		3 社協支部・分会等との連携	
支部分会活動と連携し地域づくり活動	3回	・町区ラジオ体操	4回 47人
		・上西条防災訓練	1回
		・大出分会	1回
		・大門6番町	1回
		・上西条分会	1回
		・峰原分会	1回
		・長畝分会	1回
4 住民福祉活動の支援		4 住民福祉活動の支援	
地域福祉推進センターと連携し支援		・子ども食堂	2回
・ラジオ体操	町区	・おさがり服会	4回
・ふれあいサポーター活動の支援	18回	・カラオケ交流会	3回
		・ボランティア支援	1回
		・北小野たのめ市	1回
・ふれあいサポーター養成講座	1回	・哲学対話	3回
5 福祉学習の推進		5 福祉学習の推進	
住民や学校における福祉学習を地域福祉推進センターと連携しコーディネート		・塩尻中学校	10回
		「福祉とは、障がいとは、年を取るとは」	
・福祉学習	8回	・両小野中学校	3回
・啓発活動	3回	・西部中学	1回
		・広陵中学	1回
		・塩尻東小学校	1回
		・塩尻西小学校	1回
		「福祉とは」「ボッチャ体験」	
		・啓発活動	4校 4回
		塩尻東小学校	1回
		塩尻西小学校	1回
		塩尻中学校	1回
		両小野中学校	1回

【健康づくり活動の推進】	【健康づくり活動の推進】
1 生活習慣健康講座 ①運動を重視した講座 ・トレーニングマシンを利用した運動 4期×2コース 80人 ・フィットネス 6教室 90人 ・ステップアップ教室 2期 41人 ②生活指導を重視した講座 ・栄養管理 ・口腔ケア 1回 25人 2 健康づくりリーダー研修 2回 39人 健康づくり活動が自主運営できるようリーダーを育成し活動を支援 3 出前講座の開催 職員が地域に出向き講座を開催 2回 4 家族で運動教室 親子のための運動教室 2回 34人 5 機能訓練室の運営 地域健康増進の支援	1 生活習慣健康講座 ①運動を重視した講座 ・からだづくり健康教室 848人 (第1期～第4期×2コース) ・筋膜リリース教室 6回 81人 ・背骨コンディショニング教室 6回 88人 ・スポーツボイス教室 6回 66人 ・体幹トレーニング教室 6回 73人 ・温活教室 6回 88人 ・ヨガ教室 6回 80人 ・ステップアップ教室 2回 41人 ②生活指導を重視した講座 ・睡眠教室 1回 24人 ・口腔ケア 1回 25人 2 健康づくりリーダー研修 2回 38人 3 出前講座の開催 ・町区ラジオ体操健康講話 3回 4 家族で運動教室 ・親子で健康づくり教室 2回 34人 (ママフィットwithベビー) 5 機能訓練室の運営 ・個人運動利用者延べ 延べ 2153人
【世代間交流の推進】	【世代間交流の推進】
関係団体、塩尻東部保育園と協力、支部分会と連携して幅広い世代との交流 ・就労支援事業所とのマルシェ 25回 ・季節の行事、教室 3回 41人	・季節行事 七夕 1回 ・季節のお風呂(菖蒲、ラベンダー、りんご) 12回 ・就労支援事業所とのマルシェ 74回 ・家族で作ってみよう 1回 17人 ・しめ縄づくり講座 1回 10人 ・塩尻東保育園交流 1回
【東部圏域地域福祉ネットワークづくり】	【東部圏域地域福祉ネットワークづくり】
1 東部圏域地域福祉ネットワークの構築 福祉関係者による地域支え合い推進会議等で課題解決を協議、研究、開発	1 東部圏域地域福祉ネットワークの構築 ・民生児童委員協議会地区会参加 3地区10回 ・民生児童委員協議会研修 1回 ・子ども関係機関団体情報交換会 1回

			・地域ケア推進会議	2地区実施
			2 圏域間の情報共有	
			・生活支援コーディネーター会議	12回
			・東部圏域担当者会議	2回
2 有償福祉サービス事業の実施			2 有償福祉サービス事業の実施	
①生活支援サービス事業			①生活支援サービス事業	43回
②担当者打合せ会	12回		②担当者打合せ会	12回
			活動時間	53.5時間
③しおりんサポーター養成講座の開催			サポーター新規登録	4名
④市内圏域ごとの実施の協力			利用者新規登録	9人
⑤地域での活動者のグループ化の支援	3回		新規相談	15件
			継続相談	56件
			・しおりんお助け隊連絡会	2回
			・しおりんお助け隊説明会	2回
【利用者の福祉の増進】			【利用者の福祉の増進】	
1 相談支援			1 相談支援	
			・健康相談	4,378件
			・福祉相談	626件
			・ボランティア相談	20件
2 講座の開催			2 講座の開催	
①地区講座	月1回	3地区	①地区講座	
			・生きがい講座	24回 439人
②介護予防講座の開催	月1回	2講座	②介護予防講座の開催	
			・銭太鼓	10回 197人
			・からだリフレッシュ体操	10回 135人
3 福祉関係団体への会場提供	24団体	1,200人	3 福祉関係団体への会場提供	
				37団体 225回 3,527人
4 バス運行業務			4 バス運行業務	72回（往復）1,269人
			・講座	23回 187人
			・団体	48回 1,082人
5 利用者からの意見・要望の把握			5 利用者からの意見・要望の把握	
①利用者懇談会の開催	1回		①利用者懇談会の開催（7月）	1回 10人
②利用者アンケートの実施			②利用者アンケートの実施	1回/年
・各講座終了時			・各講座終了時	毎回
・全体	1回		・団体利用者・個人利用者	1回/年
			・交流会・お買い物サロン	各1回
③ご意見箱の設置			③ご意見箱の意見	
			④塩尻市社会福祉協議会苦情解決に関する委員会	

6 ふれあいセンター運営委員会	6 ふれあいセンター運営委員会	0回
7 地域交流の実施	7 地域交流の実施	
①まつりの開催	①ふれフェス開催（8月）	1回 174人
	②まつりの開催（10月）	1回 238人
②図書コーナーの利用	③図書利用者	388人 80冊
	④お楽しみ入浴（菖蒲、ラベンダー、リンゴ）12回	673人
	⑤キッズスペース、卓球台設置	
【施設維持管理】	【施設維持管理】	
1 管理保守点検等業務	1 管理保守点検等業務	
ア 建物保守管理業務	ア 建物保守管理業務	
・ 特殊建物定期検査	・ 特殊建物定期検査（1月）	1回/2年
	・ 職員による目視での点検	1回/週
イ 建築設備保守管理業務	イ 建築設備保守管理業務	
・ 消防用設備点検業務	・ 総合防災設備等点検（8・2月）	2回
・ 電気保安業務	・ 受電設備点検業務（5月、10月）	2回
・ 自動ドア保守点検	・ 自動ドア保守点検（4・8・12月）	3回
・ ボイラー保守点検	・ ボイラー保守点検（7・1月）	2回
・ 地下オイルタンク点検	・ 地下オイルタンク点検（7月）	1回
ウ 備品等保守管理業務	ウ 備品等保守管理業務	
・ 券売機点検	・ 券売機点検	
・ 必要な備品の随時修繕	・ 必要な備品の随時修繕	
	サッシ鍵2か所交換、水道メーター交換、受水槽サーモコード 取替、受水槽ポンプ交換、消火器交換、浴室換気扇取替、 脱衣所トイレ手摺設置	
・ マイクロバスの定期点検	・ マイクロバス（4・8・12月）	3か月点検 車検
	・ 軽乗用車法定点検（7・1月）	6, 12か月点検
エ 清掃業務	エ 清掃業務	
・ 毎日の清掃	・ 館内日常清掃・消毒	6日/週
	・ 外駐車場トイレ清掃	6日/週
	・ 浴槽水質(残留塩素)測定	3回/日
	・ 感染予防の消毒	3回/日
	・ ヘアキャッチャー清掃(職員)	6回/週
	・ 脱衣所ダニ駆除（7・3月）	2回
	・ 年末大掃除（12月）	1回

オ 専門業者に委託した清掃、点検、検査 ・館内のじゅうたん清掃、ワックスがけ、窓ガラス拭き他 ・ろ過機、塩素注入器清掃点検 ・貯水槽点検清掃・水質検査 ・浴室ろ過循環配管薬品洗浄 ・浴槽水質検査	オ 専門業者に委託した清掃、点検、検査 ・専門業者による館内清掃等 2回/月 ・ろ過機、塩素注入器清掃点検（１０月） 1回 ・貯水槽点検清掃・水質検査（１１月） 1回 ・浴室ろ過循環配管薬品洗浄（５月） 1回 ・浴槽水質検査（８・２月） 2回
カ 植栽等維持管理業務 1 庭清掃、剪定、下草刈り 2 警備業務 3 除雪業務 4 集金業務	カ 植栽等維持管理業務 1 庭清掃、剪定、草刈り、除草剤散布、防草シート貼 (職員) 随時 2 アルソック警備会社に委託 毎日 3 除雪業務 (職員) 随時 4 入浴料は券売機にて精算
【防犯、防災、緊急時の対応】	
消防計画により訓練実施 2回/年	避難訓練 (4月) 1回 14人 塩尻市防災訓練 (9月) 1回 3人 塩尻東保育園、地域と合同防災訓練 (10月) 1回 23人 福祉避難所立ち上げ訓練 (2月) 1回 32人 AED・救急法講習 (2月) 1回 15人 緊急対応連絡事項は常勤会、職員会議で周知
【職員研修】	
社会福祉協議会及び事業所のの研修計画により実施 5回	・寿地区生活支援コーディネーター視察 1人 ・コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修 1人 ・松本ブロック社協職員研修 1人 ・安全運転管理者講習 1人 ・交通安全運転研修 15人 ・健康管理研修 3人 ・管理者研修 1人 ・接遇研修 13人 ・社協組織、福祉事業勉強会 4回 53人 ・社協発展強化研修 2人

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	301日	301日	300日	100.3%
施設利用者	19,000人	22,014人	18,961人	116.1%
施設利用者数(団体)		6,064人	4,692人	129.2%
施設利用者数(個人)		15,950人	14,269人	111.8%
入浴者数	-	12,102人	11,539人	104.9%
入浴券売上	2,733,000円	2,896,800円	2,877,300円	100.7%
健康相談	-	4,378人	4,253人	102.9%
福祉相談	-	626人	892人	70.2%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	・施設利用者数は前年より約16%増と福祉相談以外は増加し、目標の達成ができた。特に10代の利用は昨年度比4.5倍、60代は1.4倍の伸びがあった。ふれフェス、まつり、SNS等の周知が家族での利用につながり、幅広い世代に利用された。 ・頻回の障がいのある利用者が他施設利用になったことや、有償福祉サービスのうち草取りや雪かきのニーズが一部解消されたことにより、福祉相談については減少した。 ・総合相談窓口として、個別ケース、地域課題に対応の為、積極的に訪問活動を行い、各関係機関と連携を図りつなげることができ、経過の見守りを行なっている。 ・講座は定員を満たして開催。また、アンケート等要望により、お盆の8月と正月の1月はお休みにした講座や、若年層利用に向けた内容や土日曜日の開催にするなど幅広い年代層の利用に努めた。 ・開館日は2日間工事の為休館となる。 ・事故、感染者もなく安全、安心に利用ができた。 ・令和6年度から地域福祉推進員の設置、総合相談窓口機能の充実等に、また、地域の防災に備え職員研修に力を入れて実施できた。
施設担当課の 評価・分析	・施設利用者からの相談や、電話などの相談だけではなく、民生児童委員の会議等に参加して、地域の実情把握に努め、困りごとのすいあげを積極的に行い、課題抽出、課題解決に努めた。 ・地域課題の解決講座として、「霧訪山コン」や男性の講座参画としてカラオケ交流会など、企画しニーズや課題解決をはかった。 ・講座等の利用人数は増えているので、そこからボランティアの担い手確保へつながる講座等も検討してほしい。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

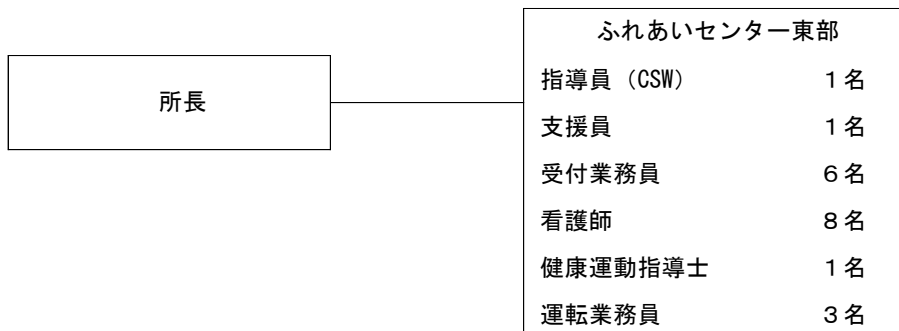
	項 目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	35,120,000	35,096,320	35,975,000	97.6%
	・ 利用料収入	2,438,000	2,896,800	2,881,500	100.5%
	・ 講座参加費収入	3,000	7,597	3,400	223.4%
	・ 受入研修費収入	1,000	0	0	0.0%
	・ 寄付金収入	1,000	3,508	1,510	232.3%
	・ 会費収入	212,000	0	0	0.0%
	・ 雑収入	267,000	198,622	102,953	192.9%
	収入計 (A)	38,042,000	38,202,847	38,964,363	98.0%
支 出	・ 人件費	19,982,000	20,170,529	20,208,031	99.8%
	・ 保健衛生費	144,000	142,948	167,401	85.4%
	・ 教養娯楽費	55,000	35,773	29,568	121.0%
	・ 水道光熱費	5,740,000	6,179,107	6,719,733	92.0%
	・ 燃料費	2,086,000	2,358,180	2,200,660	107.2%
	・ 消耗器具備品費	380,000	246,445	268,904	91.6%
	・ 保険料	271,000	254,230	225,070	113.0%
	・ 賃借料 (車輛)	184,000	183,600	183,600	100.0%
	・ 車輛費	165,000	92,405	92,491	99.9%
	・ 職員被服費	23,000	0	15,862	0.0%
	・ 諸謝金	1,210,000	1,106,500	1,157,802	95.6%
	・ 旅費交通費支出	2,000	0	0	0.0%
	・ 研修研究費	29,000	9,500	9,200	103.3%
	・ 事務消耗品費	111,000	0	0	0.0%
	・ 印刷製本費	4,000	0	13,156	0.0%
	・ 修繕費	400,000	341,770	359,480	95.1%
	・ 通信運搬費	215,000	281,115	237,771	118.2%
	・ 会議費	3,000	440	680	64.7%
	・ 業務委託費	2,336,000	2,506,130	2,291,109	109.4%
	・ 手数料	32,000	67,265	33,440	201.2%
	・ 保険料 (火災)	10,000	11,257	9,896	113.8%
	・ 賃借料	193,000	209,852	196,628	106.7%
	・ 土地・建物賃借料	18,000	15,817	14,550	108.7%
	・ 租税公課	3,000	1,000	1,000	100.0%
	・ 保守料	1,338,000	759,254	794,590	95.6%
	・ 諸会費	6,000	6,000	6,000	100.0%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	40,000	17,757	16,746	106.0%
	・ 退職手当、年金共済掛け金	685,000	486,942	461,454	105.5%
	支出計 (B)	35,665,000	35,483,816	35,714,822	99.4%
	収支 (A) - (B)	2,377,000	2,719,031	3,249,541	
	・ 事務諸経費	0	2,719,031	3,249,541	83.7%

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	82.8%	84.1%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	20.8%	18.9%
固定比率（固定資産/資本×100）	96.3%	92.8%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	392.0%	562.5%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.5%	1.2%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
管理者1名（常勤） 社会福祉士（CSW）1名（常勤） 支援員1名（常勤） 理学療法士又は健康運動指導士1名（兼務） 支援員（受付・施設管理）5名（非常勤） 看護師6名（非常勤） 運転手1名（非常勤） 防火管理者・危険物取扱者・衛生推進員（いずれかの職種が兼務）	管理者1名（常勤）防火管理者、危険物取扱者兼務 社会福祉士（CSW）1名（常勤） 支援員1名（常勤） 健康運動指導士1名（委託職員） 受付、施設管理6名（非常勤） 看護師8名（非常勤）衛生推進員兼務 大型運転手3名（非常勤）



7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
地区講座（生きがい講座）	19回 地区講座（生きがい講座） 24回
地域交流事業（東部まつり）	1回 東部ふれあいセンターまつり 238人 1回
	ふれフェス 174人 1回
利用者懇談会	1回 利用者懇談会 1回
苦情解決に関する委員会	2回 苦情解決に関する委員会 1回
	子供服おさがり会 4回
	就労支援事業所と青空マルシェ 74回
	お買物サロン 11回
	季節のお風呂 12回

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			51					50				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			24					24				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(3) 評価点合計 (16項目)			51					51				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	126点	76.8%	施設担当課	125点	76.2%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	3	目標値に対して利用者数115.9%、利用料が106%、前年実績に対して利用者数116.1%、利用料が100.7%となった。	3	利用者数、利用料の要因を検証していただきたい。
	5	東部避難訓練実施、塩尻市防災訓練参加、東保育園東部合同防災訓練、東部災害時避難所立ち上げ訓練を実施、BCPの作成、社協災害対応マニュアルの見直しを行った。	5	避難訓練に加え、関係者や施設利用者が参画し、福祉避難所立上げ訓練を実施し、職員の意識向上や、災害に備えた意識の構築等に努めた。
	9	災害時対応研修4回、令和6年度地域福祉推進グループの事業移管に対応するための社協職員としての心構え、支部分会事業、総合相談窓口強化の研修を4回実施し強化を行った。	9	事業が移行するにあたり、全職員が対応できるように職員研修を行い、対応向上に努めた。
(2) 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理できた。	17	指定管理料など適正に管理運営に努めたことを確認した。
	19	収支計画書に則り適正に予算執行ができた。	19	適正な予算執行に努めたことを確認した。
	20	複数職員で確認、適切に管理できた。	20	引続き、複数の職員で管理、確認し、不備等のないように努めてほしい。
(3) サービス等の内容や水準	28	利用者アンケートを行い、講座内容、開催日等対応、そのため幅広い年代の方の利用され参加人数が増加した。脱衣所トイレの手すり設置、浴室換気扇取替を行い、清潔で事故なく安全に利用できた。	28	アンケート内容を検証し、幅広い世代が参画できるような仕組みづくりを行い、ニーズにあった講座等を行った。
	33	令和4～5年で東部全地区でお買物サロンを実施した結果、交通弱者と言われる方の講座バスの利用は無く、元気な方の楽しみでの利用でした。また、買い物バスの申込は交通弱者と言われる方からの申し込みは無く、元気な方の楽しみでの利用でした。地域課題に沿った講座を行い公民館とも連携しよりニーズを掘り下げることができた。カラオケで交流会を試験的に行い、障がい者の居場所としてのニーズがあった。	33	地域の課題、ニーズをキャッチして、ふれあいセンター東部の特色を生かした講座を展開した。
	34	ふれフェス、東部まつり、マルシェ、季節のお風呂等積極的に行い、SNSの活用、施設内に緑と花と整頓を心掛け、利用者から好評をいただき、多くの方が利用された。	34	3センターの特色を生かしたイベントを開催し、高齢世代だけでなく、若い世代、子育て世代の利用促進に努めた。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価 ・感染者、事故が無く、施設設備管理も行え安心・安全に利用して頂けた。 ・職員研修を行い笑顔での接遇、コミュニケーションを図り、利用者との繋がりに努めた。 ・各種イベントを行い、居場所として楽しんでいただき個人、団体当利用者の収入増につながった。 ・総合相談窓口として職員も対応、CSWの相談につながった。 ・これからの地域福祉を支える子供たちの福祉教育は訪問校も増やし65%増と積極的に行った。 ・運動講座等の後、フォローアップ研修を行い、自主グループが2つ立ち上がった。 ・中学生の部活練習などに卓球台が利用され、新たな世代間交流も生まれた。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの） ・地域共生社会に向けた全世代対応型支援体制の整備。 ・講座、イベントなどの機会に地域福祉計画、地域福祉活動計画の周知、推進を行う。 ・健康づくり課と連携し、関係機関と協力して健康フェスタの開催。 ・介護保険認定が取れなかった人へのデイサービス、リハビリの場所として長寿課と連携して、狭間の人の居場所づくりを試験的に行う。 ・生きがい講座、介護予防講座の在り方の見直し。 ・介護予防プログラムのeスポーツの導入。 ・ふれあいセンター東部の事業所避難所マニュアルの作成。 ・ホームページやインスタグラムなどでの情報発信ができたが、更に充実をさせていく。 ・交通課題プロジェクトの地域での移動支援ニーズ調査と検討。 ・塩尻市事業者間取引券を利用し、業者への利便性を図り、経費節減を行う。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの） ・各関係機関と連携し、ふれあいセンター、地域包括ケアシステム、全世代対応型支援体制整備事業を推進する。 ・講座、イベントなどの機会に地域福祉計画、地域福祉活動計画の周知、推進を行う。 ・介護保険認定が取れなかった人へのデイサービス、リハビリの場所として長寿課と連携して、狭間の人の居場所づくりの講座を行う。 ・支部分会活動ができるように担い手の育成とあり方の検討。 ・有償福祉サービスしおりんお助け隊メンバーの増員。 ・地域支え合いを区単位でその区のニーズに合ったグループを立ち上げ。 ・交通課題プロジェクトの地域での移動支援組織の立ち上げ。
	施設担当課 ・仕様書及び実施計画に沿い、概ね良好に管理運営が行われている。地区懇談会等でキャッチした地域課題に沿った講座を行い、課題解決に努めた。また、男性参加者が少ない、障がい者の居場所づくりなど幅広く講座を行った。 ・ふれあいセンターで実施している事業、講座の効果を検証するなど、PDCAのマネジメントサイクルにより、事業の方向性を検討していただきたい。併せて、ふれあいセンターの目的、認知度向上に努めていただきたい。